飲酒運転等不祥事再発防止アクションプランについて

1　経緯

このアクションプランは，不祥事が続く現状に危機感を覚えた 150 名を超える職員が再発防止策のアイデアを自ら出し合い，さらにそこから選ばれた 18 名のワーキング・グループで具体的な検討を進めたものを土台として取りまとめたものです。

2　プランの概要

⑴　不祥事やその対応に関する課題の整理

○　まず，不祥事が続いている現状や不祥事への対応についての課題について，次のように分析しました。

【これまでの取り組みにおける課題】

〈個人的要因〉
・飲酒に関する問題意識や知識の不足
・市職員としての自覚・誇りの希薄化
・多くの職員の当事者意識の欠如，“他人ごと”化　　　　　など

〈組織的要因〉
・不祥事発生時の応急的な対応と取組みに対する“やらされ感”の蔓延
・職場等における研修や指導のマンネリ化，形骸化
・職場でのコミュニケーション不足や職員のプライバシーへの遠慮　など

課題を踏まえ・・・。

⑵　今後の取組みに必要な視点

○　それらの課題を踏まえ，今後，不祥事の再発防止に向けて取り組むうえで大切な視点について，次のように整理しました。

【今後の取り組みに大切な視点】

○“自分ごと”として考える
すべての職員が不祥事を自分のこととして捉え，その思いを組織がしっかりと受け止めることにより，一丸となって再発防止に取り組む組織風土をつくる。

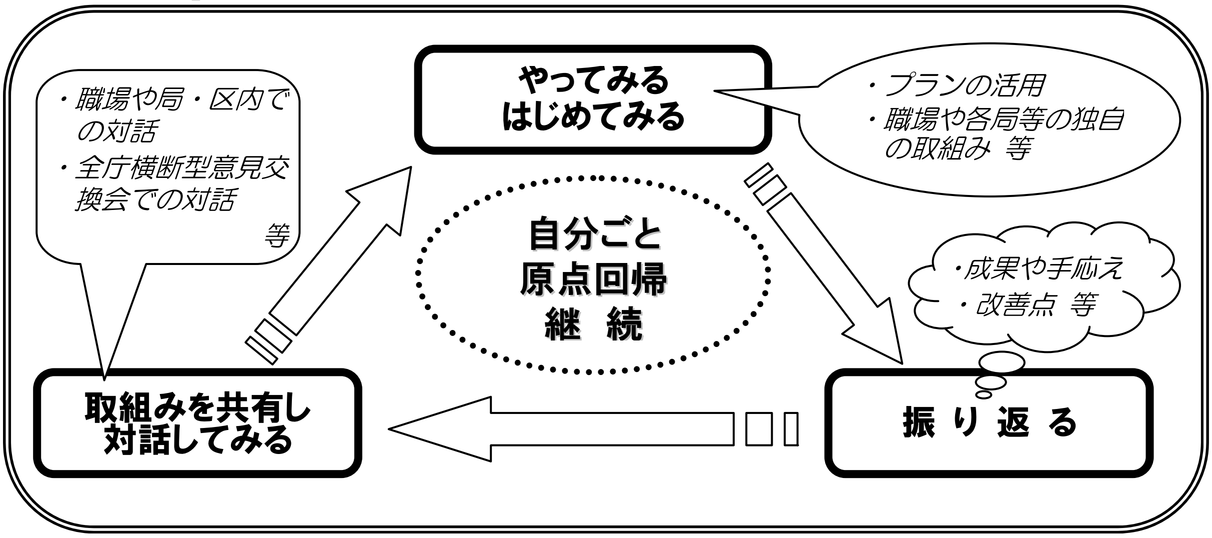
○　原点に帰る
私たちは何のために仕事をしているのか，そのために市職員として何が大切でどうあるべきかを職員全体で共有し，自分自身を見つめ直す。

○　取り組み続ける
思いを風化させないよう，また形骸化や慣れを防ぐために振り返りや見直しも行いながら，取組みを継続していく。

⑶　取り組み体制と推進イメージ

○　この３つの視点を踏まえ，従来のように全庁的に再発防止策を決めたうえで実施するのではなく，**局長・区長のリーダーシップ**のもと，**すべての職員が何らかの形で参画し，職場や役職，年代などの垣根を越えて語り合える推進体制**を確立し，局・区が一体となって自主的な取組みを推進します。

【推進イメージ】



⑷　不祥事再発防止に向けた取り組みプラン

不祥事の再発防止に向けた具体的な取り組みプランについて，すべての職員にかかわりのある「全庁を挙げて取り組んでいくためのきっかけづくり」と，各職場や局・区において進める自主的な取組みの参考となる「各局・区で進める自主的な取組みへの提案プラン」に整理しています。

【きっかけづくり】
- トップからのメッセージ
- アルコールに関する研修の充実
- 「私のお酒の飲み方シート」の作成
- 「福岡市職員憲章」の作成
- 「服務の宣誓」の再署名
- 懲戒処分疑似体験研修　　　など

【提案プラン】
- 大声スローガン
- 「大切な人リスト」の作成
- 「ヒヤリ・ハット事例集」の作成

３　今後について

このプランにおける取り組みを含め，不祥事再発防止に向けた取組状況については，市役所全体で定期的に把握したうえで，様々な取組みを共有するとともに，市役所全体で共有・対話する場として全庁横断型の意見交換会を開催します。

これらの共有・対話をもとに，それまでの取り組みを更にバージョンアップさせ，不祥事の再発防止に向けて着実に取り組んでいきます。